

災害時のあなたの行動を書きましょう。  
家族で決めた避難先・集合場所、連絡方法は裏表紙のメモに書き込みましょう。

災害発生までの時間

5日前

## 気象情報 避難指示等

台風に関する気象情報

台風が発生



台風が近づいて、雨や風がだんだん強くなる

## 〈例〉主な備えと行動

- ・台風の今後を調べ始める
- ・本書等を見て避難場所、避難手段を確認
- ・家の周りに風で飛ばされるようなものはないか確認
- ・テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意
- ・避難するときに持っていくものを準備する
- ・家族と連絡を取りあう

## わが家の行動計画

(左の例を参考に書いてみましょう)

半日前

大雨注意報・洪水注意報 氾濫注意水位到達

雨が集まって、川の水がだんだん増える



- ・住んでいるところと上流の雨の量を調べ始める
- ・本書等で避難場所、避難手段を再確認
- ・川の水位を調べ始める
- ・避難所が開設しているか、インターネットで確認
- ・避難しやすい服装に着替える
- ・携帯電話、スマートフォンを充電する

5時間前

避難判断水位到達 高齢者等避難

激しい雨で、川の水がどんどん増えて、河川敷にも水が流れる



- ・防災インフォみなかみ等で高齢者等避難を受信
- ◎高齢者等は避難開始

3時間前

氾濫危険水位到達 避難指示

川の水があふれそうになり、いつ氾濫してもおかしくない状態



- ・防災インフォみなかみ等で避難指示を受信
- ◎安全なところへ移動を始める

**全員避難完了!!**

0時間

氾濫が発生 緊急安全確保 川の水が氾濫



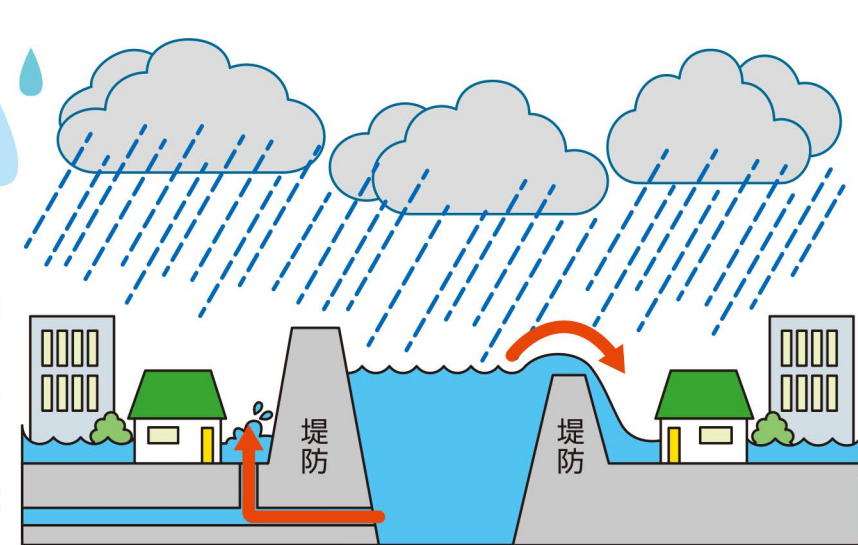
- ・命の危険 直ちに安全確保

※ 気象庁が発表する大雨注意報等の発表時間は、イメージで記載しています。避難指示等のタイミングは状況によって異なります。みなかみ町からの発信情報に注意してください。

## 氾濫の種類

### 内水氾濫とは

市街地などで大雨が降ると、側溝や排水路だけでは雨水を流しきれなくなることがありあふれ出した雨水により、建物や土地・道路等が水に浸かってしまうことです。雨が降り始めてから短時間で浸水することもあるので注意が必要です。



### 外水氾濫とは

河川の堤防から水があふれたり、堤防が決壊して、家屋や田畑等が浸水することです。外水氾濫が発生すると、大量の水が流れ込み、広い範囲で浸水し、水が引くまでに時間がかかります。

## 雨の強さと降り方

やや強い雨 ザーザーと降る	強い雨 どしゃ降り	激しい雨 バケツをひっくり返したように降る	非常に激しい雨 滝のようにゴゴーと降り続く	猛烈な雨 息苦しくなるような圧迫感があり恐怖を感じる
地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしていてもぬれる。ワイパーを速くしても見づらい	道路が川のようになる。高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく。水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	傘は全く役に立たなくなる。車の運転は危険
10mm以上～20mm未満	20mm以上～30mm未満	30mm以上～50mm未満	50mm以上～80mm未満	80mm以上～

## 風の強さと吹き方

やや強い風	強い風	非常に強い風	猛烈な風
風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。樹木全体や電線が揺れ始める	風に向かって歩けない。転倒する人も出る。雨戸やシャッターが揺れる	何かにつかまっていないと立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある	屋外での行動はきわめて危険。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック塀で倒壊するものがある
平均風速 10m/s以上～15m/s未満	平均風速 15m/s以上～20m/s未満	平均風速 20m/s以上～30m/s未満	平均風速 30m/s以上

## 台風について

熱帯の海上で発生する低気圧を「熱帯低気圧」と呼びますが、このうち北西太平洋または南シナ海に存在し、なおかつ低気圧域内の最大風速(10分間平均)がおおよそ17m/s(34フット、風力8)以上のものを「台風」と呼びます。

大きさの階級	大きさ	風速15m/s以上の半径
	大型(大きい)	500km以上800km未満
	超大型(非常に大きい)	800km以上

強さの階級	強さ	最大風速
	強い	33m/s以上44m/s未満
	非常に強い	44m/s以上54m/s未満
	猛烈な	54m/s以上

## 台風への備え

